

《2019》第18回 東京都スーパーシニア大会・大会要項

競技方法	トーナメント方式7回戦・70分とする。(65分経過後、次にイニングに入らない)
競技規則	2019年度日本ソフトボール協会競技規則及び会場特別ルールによる。
表彰	優勝(優勝杯・賞状・楯) 準優勝(賞状・楯)を授与する。 優勝、準優勝チームには31年度関東スーパーシニアソフトボール大会への出場権を与える。 3位決定戦は行わない。
参加資格	・令和2年4月1日現在で満70歳以上の者で編成したチームとする。 ・1支部何チームでも、また他支部との混成チームも出場可能とする。 ・チーム内に指導者の有資格者がいること。
登録者数	監督、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内とする。但し、監督・コーチ・スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。 ※参加申込み後の登録選手の変更は認めない。
打順表の提出	第一試合は開始20分前、以後は30分前に提出すること。(出場全選手を記入すること) ※打順表は4部提出し、記載のない選手は出場できない。
ベンチ	組合せの若い番号のチームを一塁側とする。 ※投球練習(1組のみ)以外はベンチから出られない。尚、捕手は外野側とする。
先行・後攻	監督または主将のコイントスで決める。
コールドゲーム	適用しない。
延長戦	時間内のタイブレーカーは認めるが、勝負が決しない場合は抽選とする。(決勝戦は除く)
決勝戦	7回戦・90分とし、勝負が決しない場合は即タイブレーカーを適用し決着をつける。
日没・降雨等	日没、降雨等で試合続行が不能の場合は、3回以降の均等回の得点により決する。
抗議	監督以外は認めない。
グラウンドルール	試合開始前に審判員より指示する。
紛争の処理	試合中に生じた紛争の解決は担当審判員がすべてを処理する。
その他	・投手の投球距離は12.19mとする。 ・故意四球を採用する。 ・試合の迅速化をはかるためフィールディングは省略する。 ・捕手はスロートガード付マスク、ヘルメット、レガース、ボディプロテクターを着用する。 またファールカップを付けることが望ましい。 ・打者、走者および1塁、3塁コーチは両耳ヘルメットを着用すること。 ・金属およびセラミック製スパイクの使用は禁止する。 ・大会開催中発生する事故(疾病、傷害)については応急処置は行うが、主催者は一切の責任を負わない。尚、主催者側は大会期間中の傷害保険に加入し行事参加者には保険の範囲内で補償を行う。チームは各自スポーツ保険に加入の上、健康保険証または既往病のある方は診療券を持参すること。 ・会場内(駐車場)に於いての車両事故、盗難および打球等による車両の損傷については主催者・主管者側は一切責任を負わない。 ・駐車台数に制限があるため、台数減にご協力下さい。